

2014年3月期 第1四半期(2013年4月~6月)決算説明電話会議 主要Q&A

Q：第1四半期の売上総利益変化(72億円→73億円 +1億円)の内容を教えてください。

A：

・20億円の増収に伴う粗利増	○3.8億円
・一方で売上高総利益率低下(19.0%→18.3%)	×2.8億円
〔 昨年度の不採算案件の戻り 子会社の不採算案件の発生(含む引当) 案件構成差(新規参入分野を中心とした競争激化) 〕	○5.0億円
	×4.0億円
	×3.8億円

Q：上期見通し実現の方策について

A：上期見通しの実現には、第2四半期の売上規模の達成に加え、売上高総利益率の改善(18.4%→20.2%)が必要。

- ・収益改善施策の強化・実行
- ・NSSDCクラウド(当社の標準化されたクラウド開発環境)活用による開発生産性の向上、
オフショアの拡大及び直営パートナー比率向上、
高付加価値案件の受注促進による個別案件の収益改善等で
本見通しの実現を図ります。

以 上